

施策目標に関する中長期的な達成目標と指標(平成25年度に実施する施策)

政策目標12 文化による心豊かな社会の実現

施策目標(テーマ)	達成目標	主な成果指標(アウトカム)／活動指標(アウトプット)
1 芸術文化の振興	1 我が国の芸術家や芸術団体による、優れた芸術文化活動が活発に行われるような環境を醸成する。	【成果指標(アウトカム)】 ① 我が国の主要芸術団体における自主公演数 (23年度実績:3,935件/目標:27年度・3,419件) ※24年度は集計中 ② 文化庁メディア芸術祭への応募数 (24年度実績:3,503件/目標:27年度・3,066件) ③ 日本国内の映画の公開本数における日本映画の占める割合 (24年度実績:56.4%/目標:毎年度・50%以上の維持) ----- 【活動指標(アウトプット)】 ④ トップレベルの舞台芸術創造事業における採択団体数及び採択事業数 (24年度実績:年間事業支援型134団体・事業単位支援型285事業/目標:毎年度・年間事業支援型77団体以上・事業単位支援型56事業以上) ⑤ 映画製作への支援件数 (24年度実績:62件/目標:27年度・63件)
	2 我が国の芸術文化の将来を担う、世界に通用する優れた新進芸術家等を輩出する。	【成果指標(アウトカム)】 ① 新進芸術家海外研修制度修了後の活動形態について、「現在も主たる仕事として活動している」または「専門分野と関連した仕事と並行して活動している」と回答した研修員の割合 (22年度実績:84%/目標:27年度・90%) ※23年度実績、24年度実績は25年度に調査予定 ② 新進芸術家海外研修制度により研修した者で国内外で活躍している者の輩出: 酒井健治(音楽:作曲、2012エリザベート王妃国際音楽コンクール作曲部門グランプリ/H16年度)、萩原麻未(音楽:ピアノ、2010年ジュネーブ国際コンクール優勝 H21年度)、長田佳代子(舞台美術 2011年伊藤嘉朔賞本賞/H21年度)、田中功起(美術:現代美術、第55回ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展(2013年)日本館の展示で特別表彰を受賞/H20年度) ----- 【活動指標(アウトプット)】 ③ 新進芸術家海外研修制度における派遣者数 (24年度実績:85人/目標:27年度・100人以上)
	3 子供たちが優れた芸術文化に触れることにより、豊かな感性や創造性を育む。	【成果指標(アウトカム)】 ① 子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞・体験することにより「舞台芸術への関心を高めることができた」と回答した開催校の割合 (23年度実績:97.2%/目標:27年度・100%) ※24年度実績は集計中 ----- 【活動指標(アウトプット)】 ② 学校等における公演数 (24年度実績:1,533公演、25年度見込:1,477公演) ③ 学校への芸術家派遣箇所数 (24年度実績:1,973公演、25年度見込:2,612箇所) 上記二つに関する目標:27年度・文化芸術体験に触れる機会を義務教育期間中に2回実施
	4 地域の住民が質の高い芸術文化活動に触れられる環境を形成する。	【成果指標(アウトカム)】 ① 劇場・音楽堂等活性化事業採択施設における利用者数の伸び率 (目標:29年度・120%(24年度実績に対する比率)) ② イニシアチブ事業の実施後も継続して地域における活発な芸術文化活動が行われるよう、文化振興条例の制定・検証、文化振興プラン等の策定が行われる。 ----- 【活動指標(アウトプット)】 ③ 劇場・音楽堂等活性化事業における支援事業数 (25年度見込:221件) ④ イニシアチブ事業の実施地方公共団体の人口に対する事業への参加人数(のべ人数)の割合 (24年度実績:15%/目標:毎年度1%)

【担当課(関係課)】
文化庁文化部 芸術文化課

【施策の概要】
優れた芸術文化への支援、新進芸術家の人材育成、子供の芸術文化体験活動、地域における芸術文化活動の推進等を通じて、我が国の芸術文化活動水準の向上を図るとともに、国民全体が、芸術文化活動に参加できる環境を整備する。

達成手段

達成手段 (事業・税制措置・国会議等)	23年度 補正後 予算額 (千円)	24年度 補正後 予算額 (千円)	25年度 当初予 算額 (千円)	達成手段の概要	行政事業 レビュー シート 番号	関連する 指標	担当課
文化功労者年金の支給に必要な経費	826,000	857,500	822,500	文化功労者年金法に基づき、文化の向上発達に関し特に功績顕著な者に年金を支給し、これを顕彰するもの。	0360	1	人事課
舞台芸術創造力向上・発信プラン	5,533.38 2	4,712.46 9	3,294.05 6	トップレベルの芸術団体の創造発信を支援することにより、我が国の舞台芸術水準の飛躍的向上を図り、その成果を広く国民が享受できる環境を醸成し、「文化芸術立国」の推進に資する。	0361	1-①、 ④	芸術文化課
芸術祭・芸術選奨	344,077	337,150	340,512	優れた成果を上げた公演・芸術家等を顕彰するとともに、優れた舞台芸術の主催公演を実施することで芸術活動の奨励と振興に資する。	0362	1~2	芸術文化課
国民文化祭	241,619	241,559	254,832	国民一般の各種の文化活動を全国的な規模で発表する場を提供し、顕彰等を実施することにより、文化活動への参加の意欲を喚起し、新しい芸能、文化の創造を促し、併せて地方文化の発展に寄与する。	0363	4	芸術文化課
全国高等学校総合文化祭	77,020	77,020	76,987	全国の都道府県から高等学校の生徒による文化部活動の発表の場を提供し、顕彰等を実施することにより、創造活動の向上を図るとともに相互の交流を深め文化部活動の発展に寄与する。	0364	3	芸術文化課
日本映画の創造・交流・発信	929,094	806,622	806,354	映画製作活動の推進、優れた文化記録映画作品及び映画界で顕著な業績を上げた者の顕彰、海外展開への支援等を行うことにより、日本映画の創造活動の活性化を図るとともに、国内外における日本映画の流通を促進することにより、芸術文化の振興に資する。	0365	1-③、 ⑤	芸術文化課
若手映画作家等の育成	178,013	170,751	170,691	日本映画を振興するため、映画製作や実践的な実習等を通じ、我が国の映画界を担う新たな人材を育成する。	0366	1-③、 ⑤ 2-①~ ③	芸術文化課
メディア芸術の創造・発信	1,159.35 0	870,449	834,442	我が国のメディア芸術を一層振興するため、発信、情報収集、展示、創作活動の推進といった創造・発信の充実を図る。	0367	1-②	芸術文化課
メディア芸術の人材育成	307,783	272,064	267,052	メディア芸術を支える優れたクリエイター等の人材育成の充実を図ることにより、我が国メディア芸術の国際的評価の維持・向上を進め、世界中の愛好者の一層の拡大に寄与する。	0368	1-② 2-①~ ③	芸術文化課
文化芸術による次世代人材育成プロジェクト	5,740.36 6	5,346.18 1	5,965.03 7	若手クリエイターや新進芸術家、創造性豊かな子供の育成など、クールジャパン戦略の推進や、未来への先行投資による「強い人材」の実現を図り、文化芸術による創造的な産業育成と新たな雇用の創出を通じて、元気な日本を復活させる。	0369	2-①~ ③ 3-①~ ③	芸術文化課
新進芸術家の海外研修	438,412	418,360	412,302	新進芸術家の海外の劇場や芸術団体等での実践的な研修の機会を提供し、世界に羽ばたく新進芸術家を養成する。	0370	2-①~ ③	芸術文化課
日本芸術院会員年金の支給等に必要な経費	350,570	315,102	336,178	・日本芸術院は院長1名と会員120名以内で組織され、美術、文芸、音楽・演劇・舞踊の3部で構成される。 ・会員には各部の選挙で過半数を得た者が推薦され、総会の承認を経た後、文部科学大臣より任命されるが、その選考を行う。 ・会員は終身とし、予算の範囲内で年金が支給される。	0371	1	芸術文化課
地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ	-	2,440.74 8	2,935.73 9	文化芸術振興基本法では、地方公共団体の責務(第4条)、地方公共団体の施策(第35条)など地方で積極的な取組を推進するように規定されている。このため、地方公共団体(都道府県、市区町村)における文化振興のための条例制定を促進するとともに、地域の文化芸術活動の創造発信を支援し、地域が主体となった文化の振興を図るものである。	0376	4-②、 ④	芸術文化課
劇場・音楽堂等活性化事業(新規)	-	-	3,002.90 0	我が国の劇場・音楽堂等が行う創造発信や専門的人材の養成、教育普及活動等を総合的に支援することにより、文化拠点としての活性化等を図り、地域コミュニティの創造と再生推進し、心豊かな国民生活及び活力ある地域社会の実現に寄与する。	25年度 新規事業 0033	4-①、 ③	芸術文化課
大学を活用した文化芸術推進事業(新規)	-	-	449,979	大学を文化芸術振興のための重要な担い手として位置づけ、その有する資源を積極的に活用した活動を推進することにより、我が国全体として文化力の向上を図る。	25年度 新規事業 0034	1~4	芸術文化課
日本芸術院会館施設整備	-	716,302	-	日本芸術院の既設収蔵庫の増改築を行い、所蔵する質の高い美術品を適切な環境で管理できる体制を整える。	0450	1	芸術文化課

(参考)関連する独立行政法人の事業

事業	23年度 補正後 予算額 (千円)	24年度 補正後 予算額 (千円)	25年度 当初予 算額 (千円)	達成手段の概要	行政事業 レビュー シート 番号	関連する 指標	担当課
独立行政法人国立美術館運営費交付金に必要な経費	5,972.82 0	7,701.18 7	7,545.72 7	独立行政法人国立美術館は、東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、国立西洋美術館、国立国際美術館及び国立新美術館を設置し、それぞれの美術館の理念、目的に基づいた調査結果や研究成果を基に、多様な鑑賞機会の提供としての展示事業や教育普及・研修事業、美術(映画を含む。)に関する作品その他の資料の収集・保管・修理等の事業を有機的・体系的に行う。	0372	1	長官官房 政策課
独立行政法人国立美術館施設整備に必要な経費	6,062.54 1	5,852.45 7	5,104.26 4	独立行政法人国立美術館が設置する美術館の狭隘・老朽化等への対応のために必要な施設整備の実施及び敷地の購入を行う。	0373	1	長官官房 政策課
独立行政法人日本芸術文化振興会運営費交付金に必要な経費	10,244.0 81	9,874.17 5	9,432.86 4	独立行政法人日本芸術文化振興会は、我が国の文化芸術活動への援助に関する中核的拠点として、文化芸術活動に対する助成金の交付等に取り組むとともに、劇場施設(伝統芸能の公開又は現代舞台芸術の公演のための施設をいう。)を設置し、伝統芸能の公開及び現代舞台芸術の公演の充実等を図り、伝統芸能の伝承者の養成及び現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修を実施するほか、これらに関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用を行う。	0374	1、4	長官官房 政策課
独立行政法人日本芸術文化振興会施設整備に必要な経費	411,805	2,242.74 5	78,000	独立行政法人日本芸術文化振興会が設置する建物の老朽化や設備の経年劣化等への対応のために必要な施設整備を行う。	0375	1、4	長官官房 政策課